

経営比較分析表（令和2年度決算）

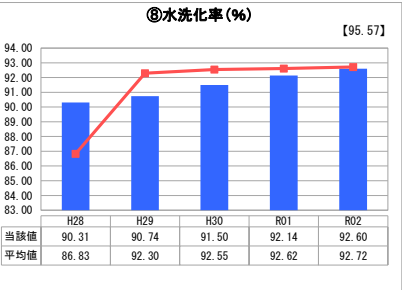
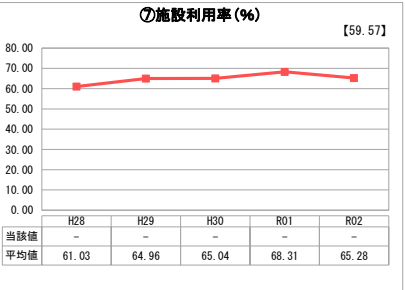
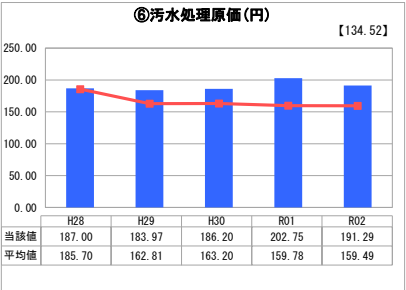
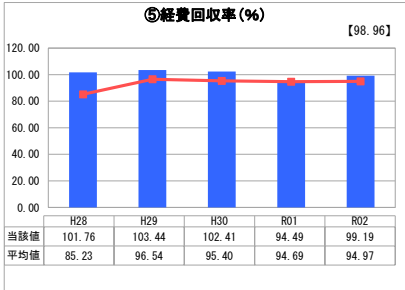
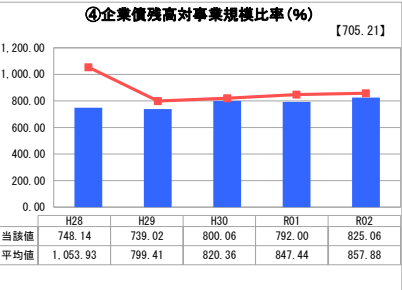
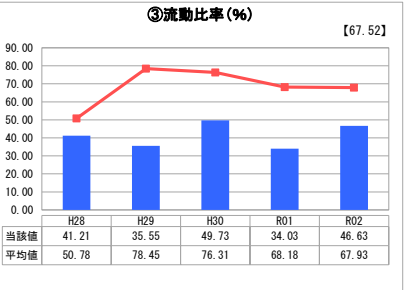
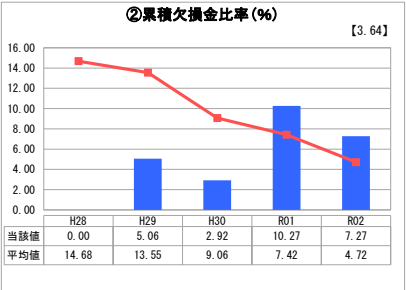
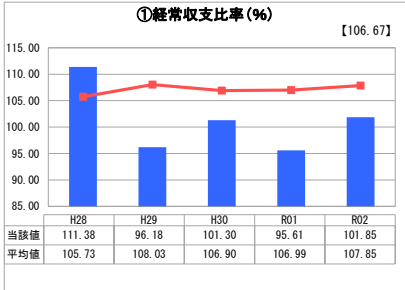
岩手県 北上市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	43.62	69.43	72.48	3,414

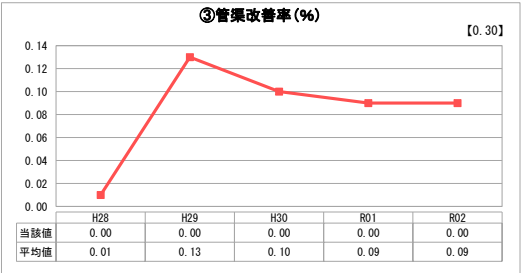
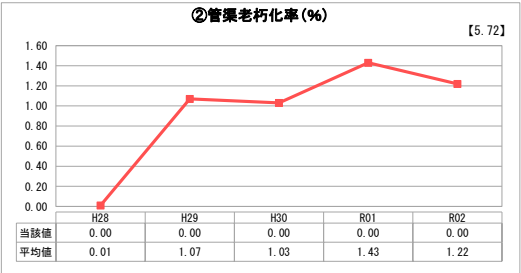
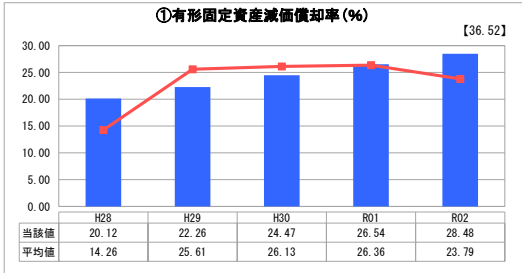
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
92,370	437.55	211.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
64,109	23.52	2,725.72

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

①令和2年度は維持管理費用の削減などにより、黒字となりました。一般会計からの補助金に依存することなく、今後もより一層の経営改善に努めていく必要があります。

②累積欠損金は、令和元年度に増加しましたが、令和2年度の黒字により改善しています。早期に解消できるよう、一層の経営改善に努めます。

③流動負債は今後も高止まりする見込みであることから、企業債の新規発行を可能な限り抑制するなどし、指標の改善を目指します。

④概ね類似団体平均と同程度の水準となっています。未普及解消事業は概成しましたが、今後管渠や設備の更新などを予定しており、引き続き計画的な投資に努める必要があります。

⑤令和2年度は概ね汚水処理費を使用料で賄えている状況となっています。経費回収率は使用料水準を計る上で重要な指標であり、今後も注視しながら経営を行っていきます。

⑥前年度より改善しましたが依然として類似団体よりも高い状況です。引き続き汚水処理費の削減に努めていく必要があります。

⑧水洗化率は年々着実に上昇しており、引き続き普及活動に力を入れていくこととします。

2. 老朽化の状況について

①全国平均を下回っており、老朽度は比較的低水準にありますが、ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した管渠や設備については適切に更新を行います。

②法定耐用年数を超えた管渠はありませんが、管渠の経過年数等を把握し、適切な点検・修繕等を含めた維持管理を行っていく必要があります。

③法定耐用年数を超えた管渠がないことから、更新等は行っていないませんが、今後は管渠の経過年数等を考慮し、計画的に更新を行っていく必要があります。

全体総括

処理戸数の増加に伴い、使用料収入は増加が見込まれますが、引き続き累積欠損金の解消に努める必要があります。令和2年度は経常収支比率が100%以上となったことからこれを維持するとともに、経費回収率についても100%程度を維持できるよう、経営戦略による長期的な財政・投資計画の進捗管理を行っていきます。

管渠や設備等の膨大な資産について、ストックマネジメント計画に基づき、国庫補助等を有効に活用しながら計画的に更新を行い、費用の抑制と平準化を目指していきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。